

長崎県における 肉用牛をめぐる情勢

長崎県農林部畜産課

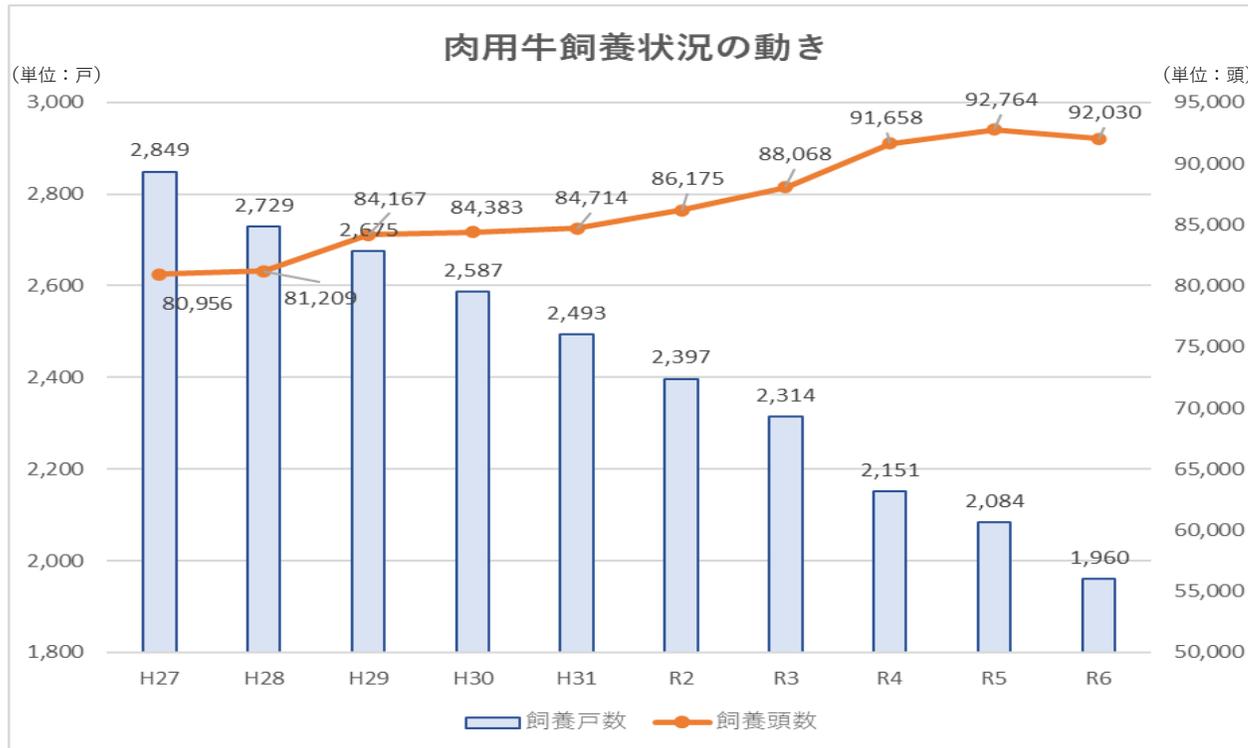
【R7.6】

長崎県内の肉用牛飼養戸数・頭数 (R6. 4. 1現在)

長崎県内における飼養戸数については減少傾向にあり、令和6年4月1日現在では1,960戸（対前年94.0%）となっている。飼養頭数については平成27年を境に増加傾向に転じていたが、令和6年4月1日現在では92,030頭（対前年99.2%）と昨年度から減少している。

地域別に見ると、飼養戸数は本土地域（県央・島原・県北地域）が1,172戸と約60%を占めており、離島地域（五島・壱岐・対馬地域）が788戸と約40%を占めている。飼養頭数は、本土地域が73,278頭と約80%を占めており、離島地域が18,752頭と約20%を占めている。

また、繁殖めす牛は島原・県北・五島・壱岐地域が28,662頭と約90%を占めており、肥育牛は県央・島原地域が23,587頭と約80%を占めている。



(表)地域別・経営タイプ別飼養頭数

(単位: 頭)

振興局名	肉用牛				割合
		繁殖めす牛	肥育牛	その他	
県央	20,504	2,704	12,960	4,840	22.3%
島原	35,224	8,724	10,627	15,873	38.3%
県北	17,550	9,099	3,748	4,703	19.1%
五島	8,678	5,022	707	2,949	9.4%
壱岐	9,623	5,817	1,504	2,302	10.5%
対馬	451	280	0	171	0.5%
県計	92,030	31,646	29,546	30,838	100.0%

出典：令和6年4月1日現在長崎県家畜・家きん飼養頭羽数調

※繁殖めす牛：黒毛和種及び褐毛和種(12ヵ月齢以上)

※肥育牛：黒毛和種及び褐毛和種(老廃牛含む)

※その他：繁殖牛(繁殖めす子牛等)、肥育牛(交雑種等)

繁殖雌牛及び肥育牛の飼養戸数・頭数 (R6. 4. 1現在)

繁殖めす牛（黒毛和種及び褐毛和種）の飼養戸数については減少傾向にあり、令和6年4月1日現在では1,823戸（対前年約94%）となっている。飼養頭数については平成27年を境に増加傾向に転じていたが、令和6年4月1日現在では31,646頭（対前年約96.6%）と昨年度から減少している。

肥育牛（黒毛和種及び褐毛和種）の飼養戸数は、令和6年4月1日現在では飼養戸数が244戸（対前年約112%）と増加した。飼養頭数は、29,546頭（対前年約107%）と増加している。

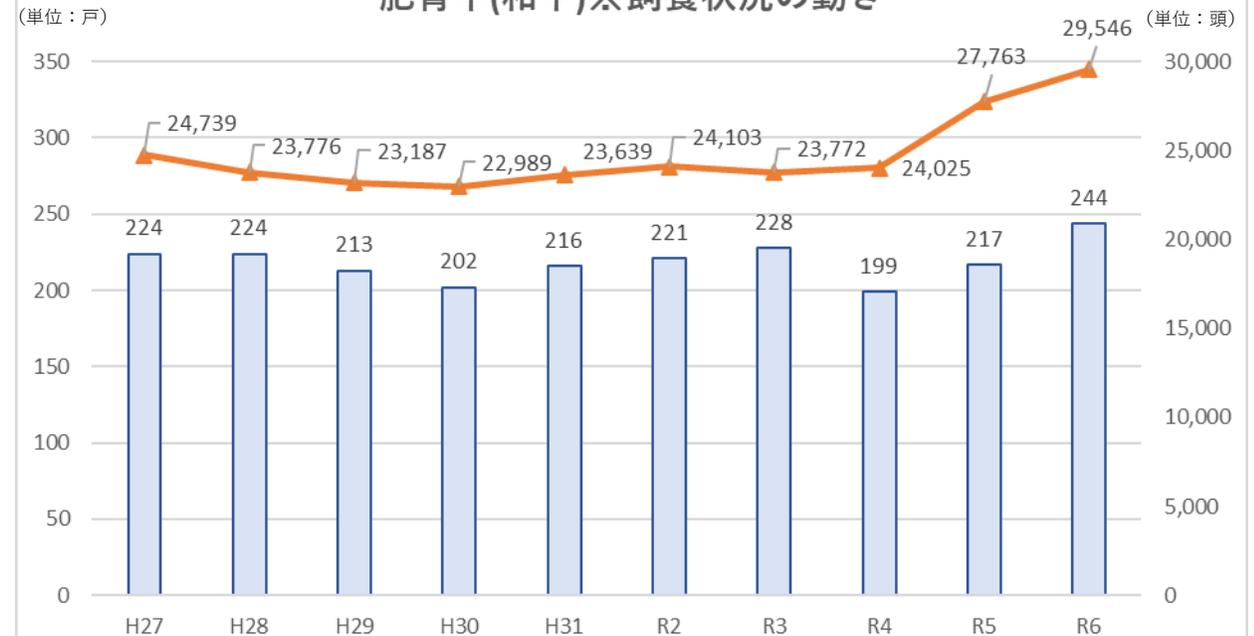
繁殖めす牛(和牛)※飼養状況の動き



※黒毛和種、褐毛和種の12ヵ月齢以上

■ 飼養戸数 ● 飼養頭数

肥育牛(和牛)※飼養状況の動き

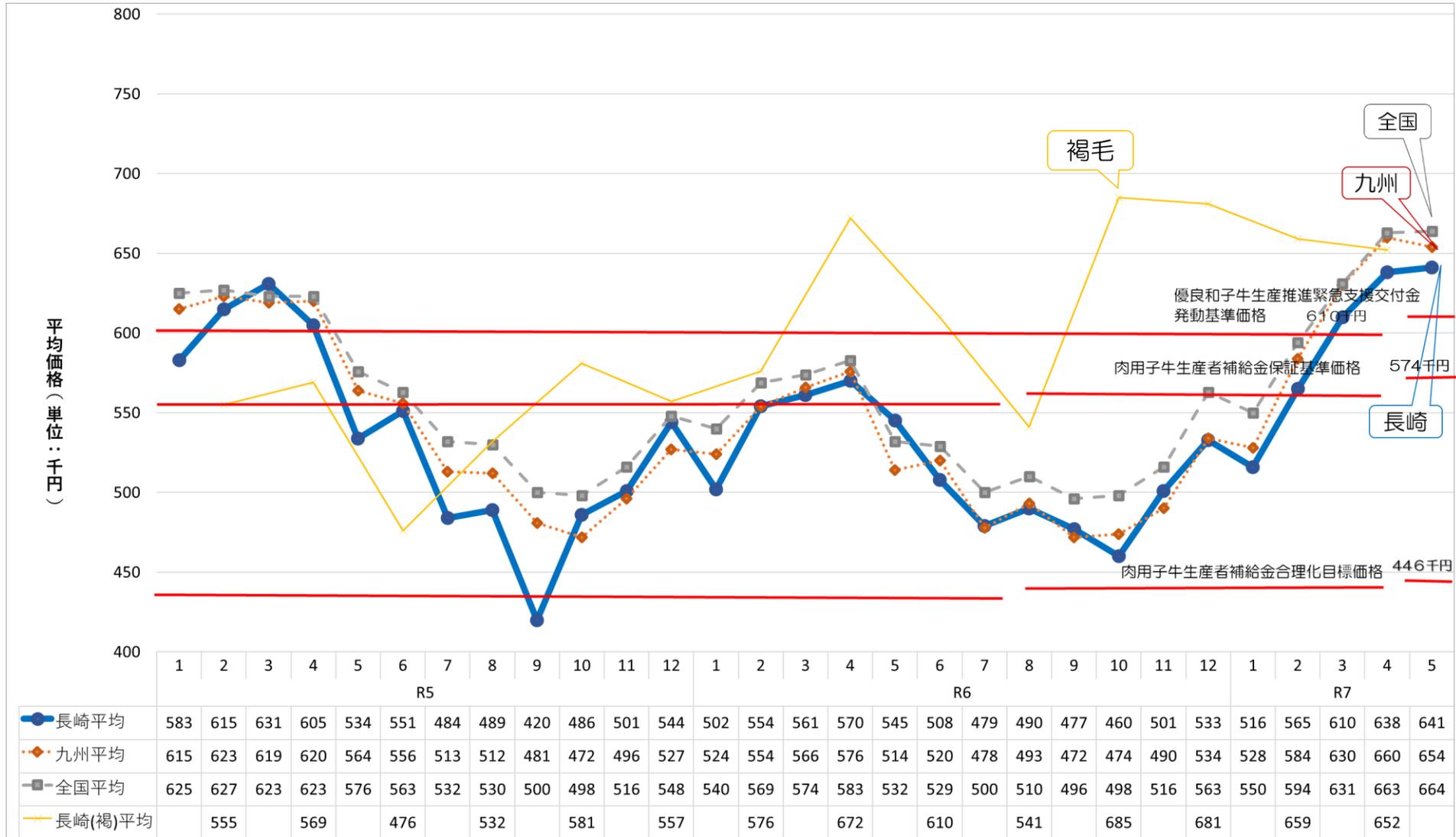


※黒毛和種、褐色和種の雄・去勢・めす(老廃含む)

■ 飼養戸数 ● 飼養頭数

数値は長崎県畜産課調べ（令和6年4月1日現在）

長崎県内における子牛価格の動向 (R7.5現在)



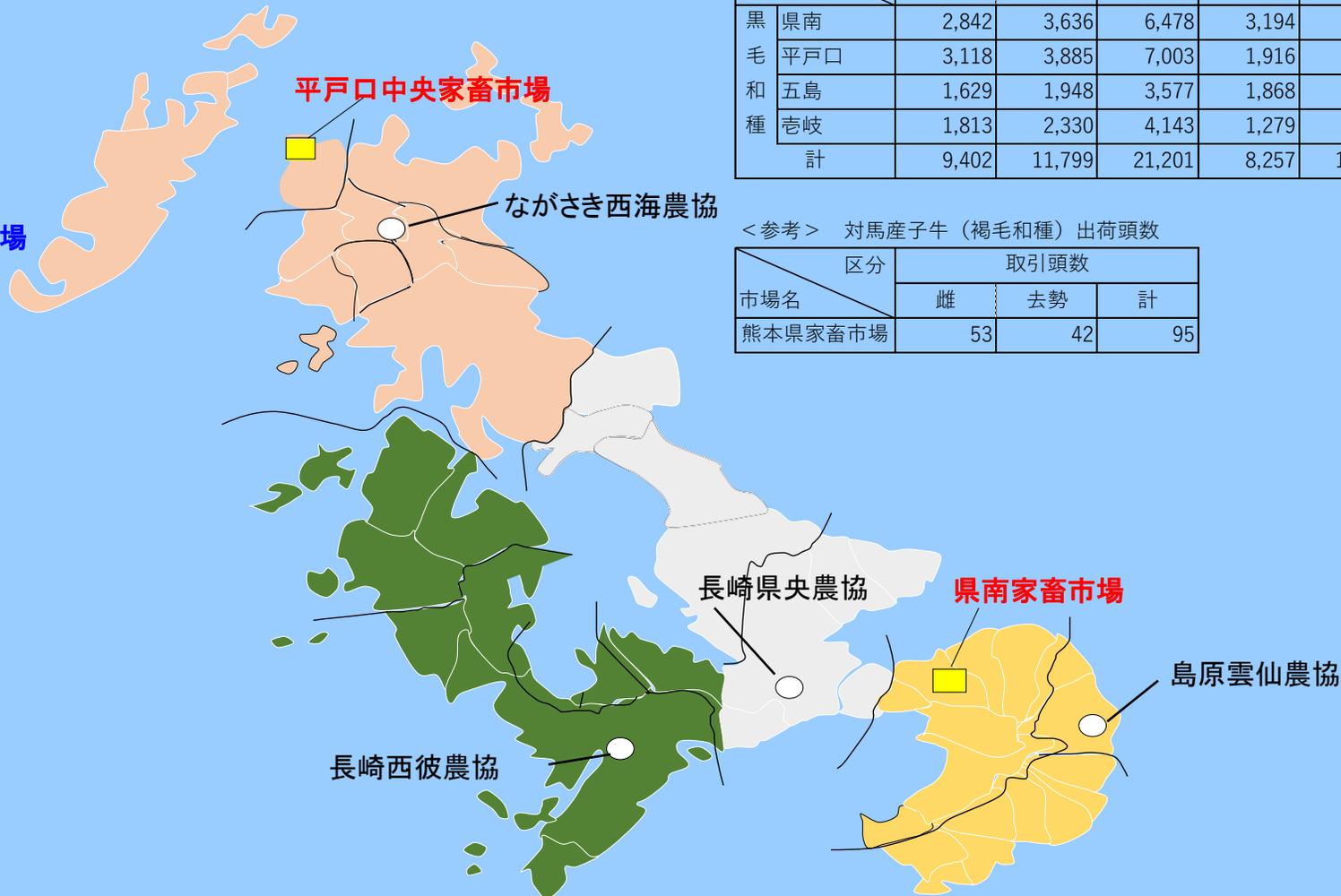
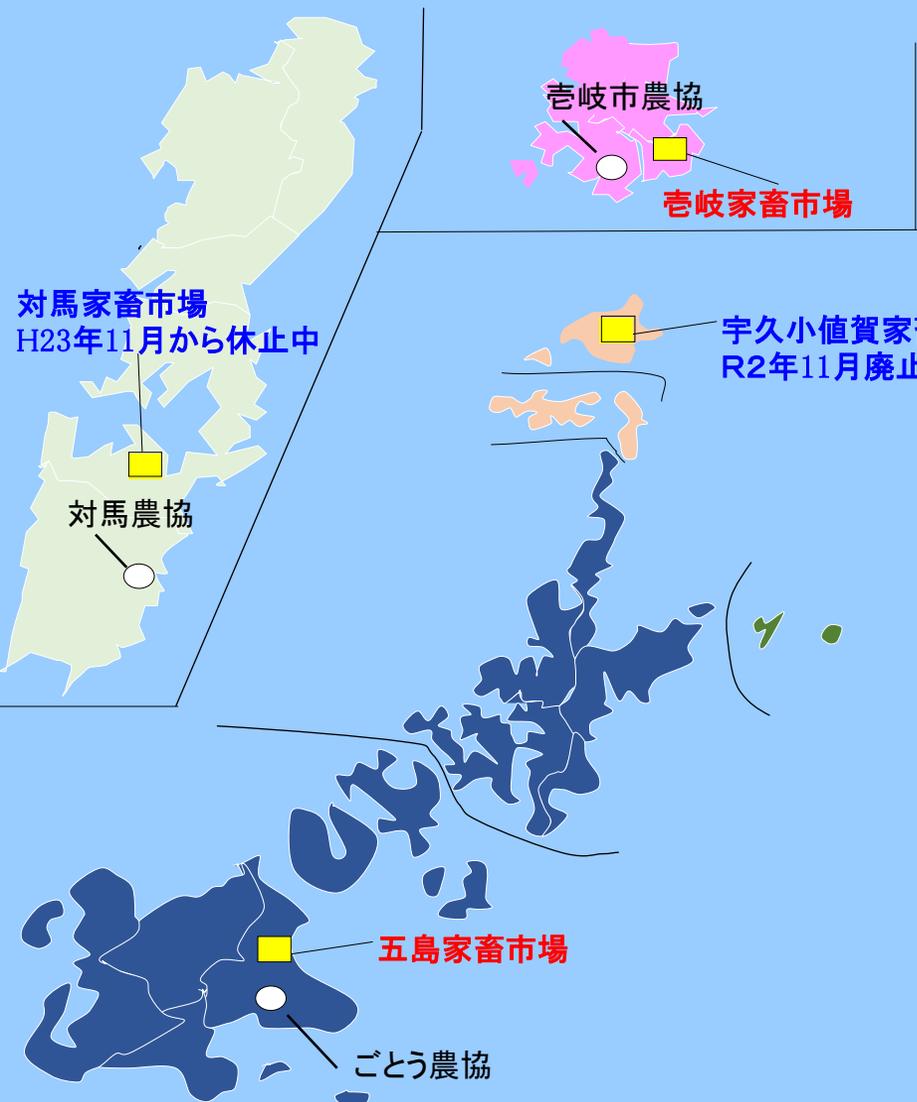
【出典】長崎平均：県内家畜市場「家畜市場(子牛・成牛)取引成績報告書」

九州平均、全国平均：alicHP「主要な家畜市場における子牛の取引状況(黒毛和種)」※

長崎(褐)平均：対馬振興局 熊本家畜市場結果報告

※ただし、直近月(R7.5)における平均価格(単位:千円)は、令和7年5月19日alicHP公表分(令和7年5月18日取引分)までの公表値に限る。

長崎県の家畜市場 (R7.5現在)



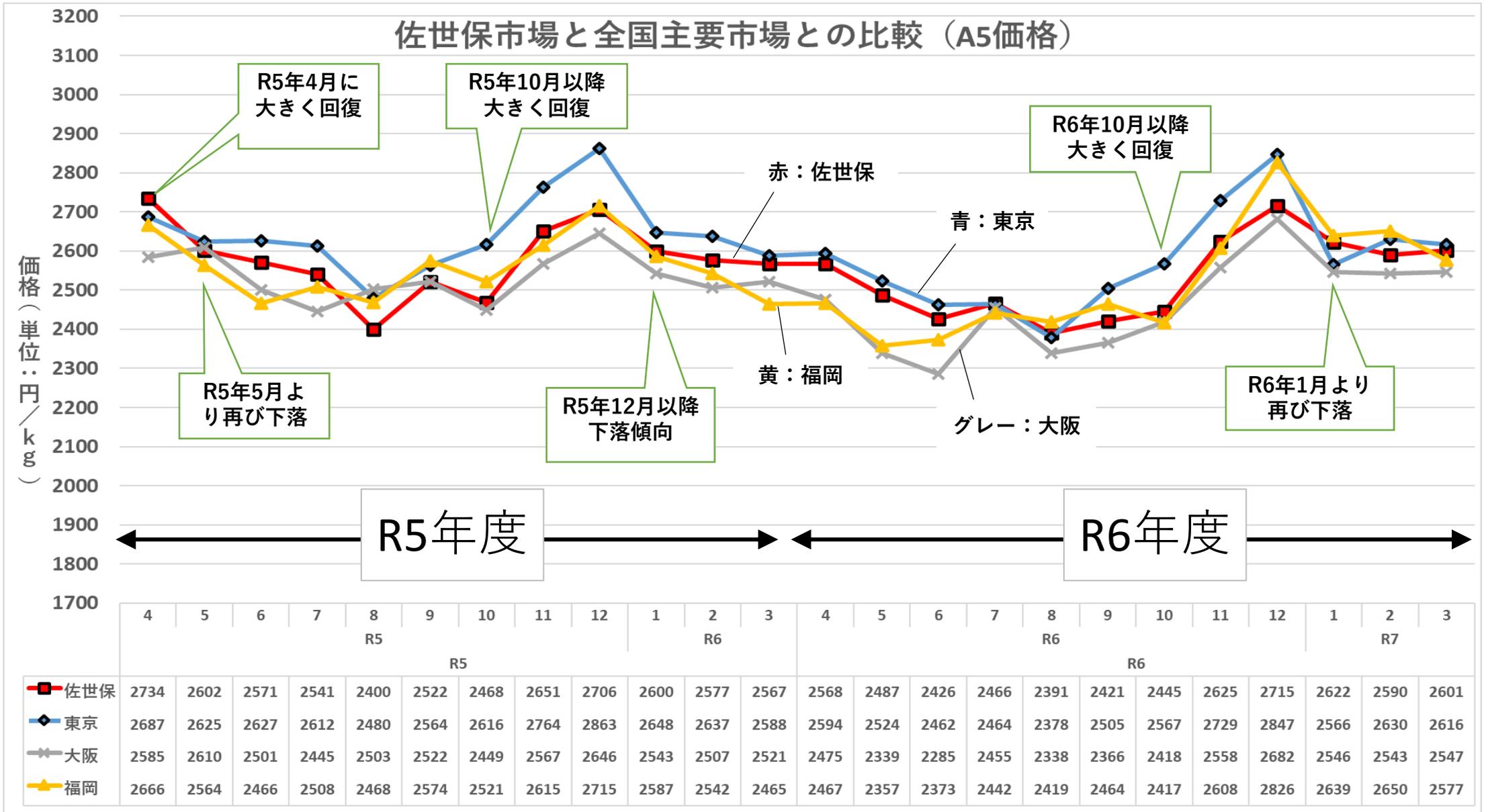
子牛市場取引頭数 (令和6年度)

市場名	区分	取引頭数			出荷先	
		雌	去勢	計	県内	県外
黒毛和種	県南	2,842	3,636	6,478	3,194	3,284
	平戸口	3,118	3,885	7,003	1,916	5,087
	五島	1,629	1,948	3,577	1,868	1,709
	壱岐	1,813	2,330	4,143	1,279	2,864
	計	9,402	11,799	21,201	8,257	12,944

<参考> 対馬産子牛(褐毛和種) 出荷頭数

市場名	区分	取引頭数		
		雌	去勢	計
熊本県家畜市場		53	42	95

長崎県内における枝肉価格の動向 (R7.5現在)



【出典】農林水産省 畜産物流通調査「食肉流通統計」

※価格は雄+雌+去勢の加重平均

長崎県の肉用牛ヘルパー利用組合

長崎県畜産課調べ

No.	名称	所在地	設立	活動内容	備考
1	小値賀町肉用牛ヘルパー組合	小値賀町	平成 7年	飼養管理、出荷、飼料収穫	
2	津吉地区モーモーかうかうヘルパー会	平戸市	平成 9年	飼養管理、出荷、削蹄・除角	
3	鷹島町和牛部会	松浦市	平成11年	除角	
4	宇久地区和牛ヘルパー組合	佐世保市	平成12年	飼養管理、出荷、削蹄・除角、飼料生産	
5	小値賀島ごと放牧組合	小値賀町	平成20年	雑木除去、追肥	
6	和牛ヘルパー	壱岐市	平成25年	給餌、人工授精、分娩作業補助	
7	深江町和牛部会	南島原市	平成25年	削蹄作業補助	
8	五島地域肉用牛ヘルパー組合	五島市	平成25年	飼養管理補助	定休型
9	生月和牛ヘルパー組合	平戸市	平成26年	飼養管理補助	定休型
10	松浦和牛定休型ヘルパー組合	松浦市	平成28年	飼養管理補助	定休型
11	南島原市肉用牛ヘルパー利用組合	南島原市	平成28年	飼養管理補助	定休型
12	南部地区肉用牛ヘルパー利用組合	南島原市	平成29年	飼養管理補助	定休型
13	壱岐地域定休型肉用牛ヘルパー組合	壱岐市	平成29年	飼養管理補助	定休型
14	高来小長井おたすけ組合	諫早市	平成29年	飼養管理補助	定休型
15	三ツ島定休型肉用牛ヘルパー組合	諫早市	平成31年	飼養管理補助	定休型
16	大島和牛定休型ヘルパー組合	平戸市	令和元年	飼養管理補助	定休型
17	東彼杵町定休型肉用牛ヘルパー組合	東彼杵町	令和元年	飼養管理補助	定休型

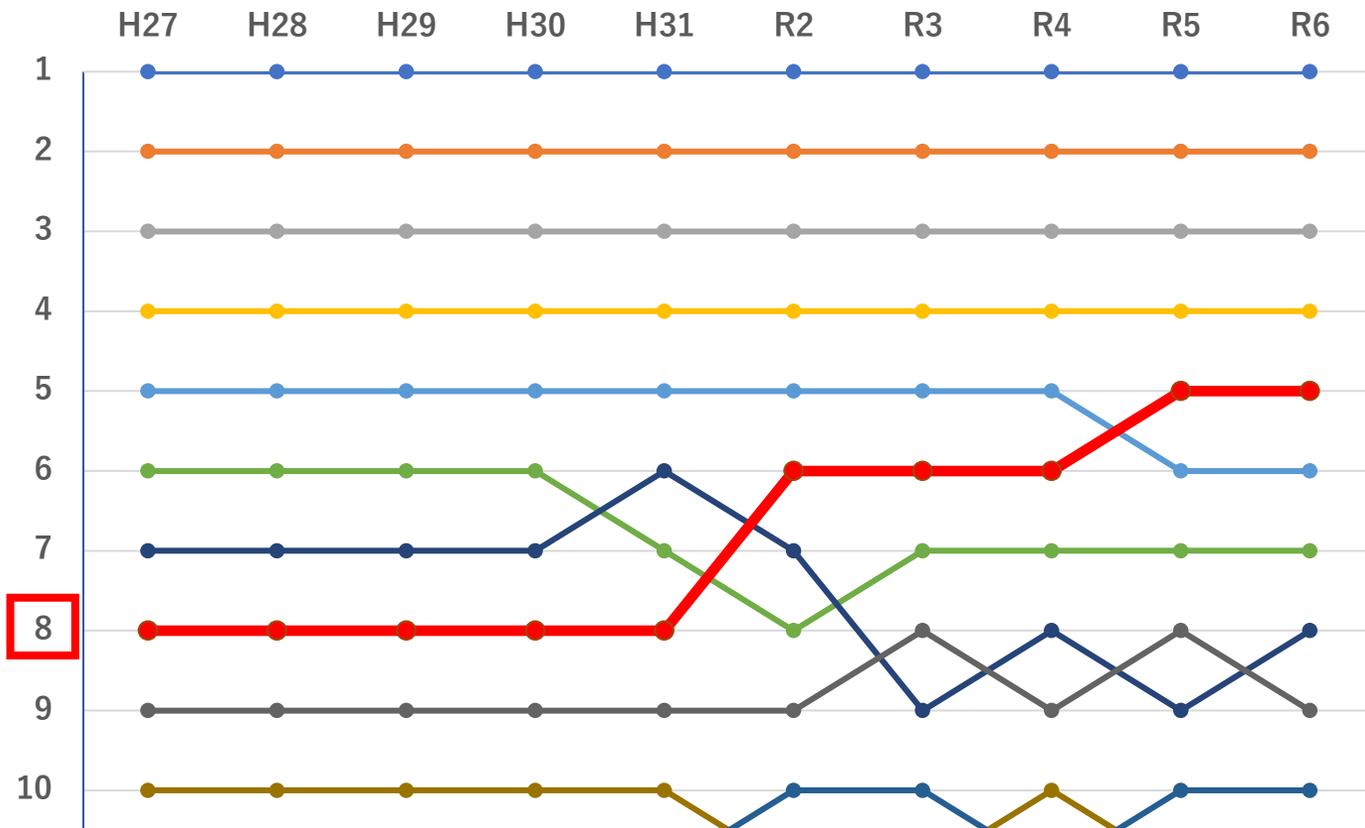
都道府県ベスト10(令和6年2月1日現在)

【肉用牛】

順位 (飼養頭数)		都道府県	飼養頭数			(参考)飼養戸数			1戸当たり 頭数 [頭]	子取り用 めす [頭]	順位	肥育用牛 [頭]	順位
今年	前年		[頭]	対前年比 [%]	シェア [%]	[戸]	対前年比 [%]	シェア [%]					
1	1	北海道	558,500	98.6	20.9	2,120	97.2	5.8	263.4	244,400	2	263,100	1
2	2	鹿児島	362,700	101.4	13.6	5,980	94.2	16.4	60.7	265,200	1	233,900	2
3	3	宮崎	258,200	99.2	9.7	4,390	93.4	12.0	58.8	199,400	3	147,500	3
4	4	熊本	134,000	96.3	5.0	2,020	96.7	5.5	66.3	97,600	4	81,500	4
5	5	長崎	93,500	102.0	3.5	1,980	95.2	5.4	47.2	61,300	8	48,200	8
6	6	岩手	87,900	98.8	3.3	3,170	92.2	8.7	27.7	67,000	6	40,100	10
7	7	栃木	86,700	102.1	3.2	748	96.9	2.0	115.9	44,600	9	54,400	5
8	9	宮城	79,500	99.3	3.0	2,370	92.9	6.5	33.5	63,000	7	48,600	7
9	8	沖縄	79,000	97.5	3.0	2,100	98.1	5.8	37.6	78,000	5	53,200	6
10	10	兵庫	58,400	99.3	2.2	1,030	94.5	2.8	56.7	43,000	10	40,500	9
全国			2,672,000	99.4	100.0	36,500	94.6	100.0	73.2	1,630,000		1,564,000	

肉用牛飼養頭数が拡大し、全国5位に上昇

肉用牛飼養頭数の都道府県順位



都道府県	飼養頭数		
	[頭]	対前年比 [%]	シェア [%]
北海道	558,500	98.6	20.9
鹿児島	362,700	101.4	13.6
宮崎	258,200	99.2	9.7
熊本	134,000	96.3	5.0
長崎	93,500	102.0	3.5
岩手	87,900	98.8	3.3
栃木	86,700	102.1	3.2
宮城	79,500	99.3	3.0
沖縄	79,000	97.5	3.0
兵庫	58,400	99.3	2.2

令和6年2月1日現在

肉用牛飼養頭数が拡大し、全国5位に上昇